

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

平成23年度第4回理事会第4回合同委員会議事録

1. 開催日時 : 平成24年3月15日(木) 13:00~17:00

2. 開催場所 : 小山パレスホテル 別館2F「富士の間」

3. 理事現在数及び定足数 : 現在数 23名、定足数 13名

4. 出席理事数 : 本人出席 14名、出席監事数 : 本人出席 1名

会 長	浅井 光昭	ダンロップ	副 会 長	石井 信成	那須野ヶ原
副 会 長	三治 明	正眼寺	副 会 長	西村 潔	京阪
常務理事	笠原 泰夫	名古屋港・富浜	常務理事	加藤 義孝	名古屋広幡
常務理事	菅野 孝男	八千代	常務理事	林 一郎	千葉よみうり
常務理事	大田 英二	北神戸	常務理事	藤下 亘理	よみうり
常務理事	森 章次	アオノ			
理 事	小林 弘実		理 事	久保田誠一	
専務理事	島田 忠次	事務局			(理事14名)
監 事	森田 敬				(監事 1名)

(陪席者)

特別委員	六車洋二郎	コート・パール徳島	特別委員	久保田英示	正眼寺
特別委員	江田 文雄	下館	特別委員	竹山 和彦	グランシエロ
事 務 局	中村 知則	事務局	事 務 局	久保 拓二	事務局
事 務 局	野上由美子	事務局			(特別委員4名)(事務局3名)

5. 欠席理事等数 : 10名

理 事	伊藤 哲夫		理 事	岡本 伸之	
理 事	川田 達男		理 事	木村 妙子	
理 事	小林 寛道		理 事	丹地 保堯	
理 事	中元紘一郎		理 事	宮内 清	
理 事	雪野 智世		事業委員長	丸山 信久	(理事10名)

6. 欠席監事数 : 1名 下川 茂樹

(監事 1名)

7. 議案

I. 審議事項

- 第1号議案 : 平成24年度事業計画(案)承認の件
- 第2号議案 : 平成24年度収支予算(案)承認の件
- 第3号議案 : 平成24年度資金調達及び設備投資見込み承認の件
- 第4号議案 : 平成24年度通常社員総会附議事項(案)の件
- 第5号議案 : 平成24年度会議及び行事日程の件
- 第6号議案 : 平成25年度競技全日本担当地区の件
- 第7号議案 : 退会正会員承認の件
- 第8号議案 : 関東ゴルフ連盟ハンディキャップ委員委嘱の件
- 第9号議案 : PGS名義後援承認の件
- 第10号議案: PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈先の件
- 第11号議案: 平成24年度調査研究事業「ゴルファーの動態統計調査」の件
- 第12号議案: NPO日本ジュニア育成協議会に対し助成金復活の件
- 第13号議案: PGSニュースの制作に関し外部委託の件
- 第14号議案: 委員会規程改定の件
- 第15号議案: 平成24年度競技パ選女子全日本に特例シード枠承認の件
- 第16号議案: J:COM(ゴルフネットワーク)によるパ選全日本放映の件

II. 報告事項

- 第1号議案 :平成23年度決算見込の件
- 第2号議案 :平成23年度競技参加者数報告の件
- 第3号議案 :平成24年度パ選参加申込者数中間報告の件
- 第4号議案 :他団体に対しシード権追加申請の件
- 第5号議案 :キャロウェイ杯参加者アンケート実施の件
- 第6号議案 :J-sys 登録料アンマッチ調査結果報告の件
- 第7号議案 :50年史「PGSのあゆみ」制作進捗状況報告の件
- 第8号議案 :PGSハンディキャップ運営マニュアル配布の件
- 第9号議案 :「第46回ジャパンゴルフフェア2012」報告の件
- 第10号議案: 寄附金受入状況報告の件
- 第11号議案: 東日本大震災義援金活動報告の件
- 第12号議案: 職員の対外呼称使用に関する件
- 第13号議案: 日本ゴルフ協会(JGA)との諸打合せに関し報告の件

8. 会議の概要:

- (1) 事務局より定足数について、理事会の構成員数は理事23名、監事2名、合計25名である旨の確認と、本理事会には理事14名、監事1名、合計15名の出席を得ており、定款第31条に定める成立定足数(構成員の2分の1以上の出席)を充足しており、本理事会は有効に成立している旨の報告がなされた
- (2) 次いで、浅井会長より次の通り開会挨拶があった。

昨年3月11日に発生した東日本大震災から丸一年経ちました。一年前の今頃、パ選の開催はどうなるだろうかと色々な思いをしたことを思い出されるかと思います。その後皆様方のご協力を得て、すぐに補正予算を組み、パ選の参加人数は大幅に減少しましたが、その後のミッドアマとシニアは順調に取り戻すことができ、なんとか一年間を過ごせました。現在は日経平均が1万円を超し、少し明るさが見えてきたのではないのでしょうか。そういう時期に私たちのパ選の競技が始まります。基本的に人間は暖かくなるにつれて、体を動かしたい、そしてゴルフをしたいと本能で感じます。ゴルファーが楽しくラウンド出来るように、皆様にご協力いただき、パ選から成功に導いていきたいと思っております。

本年度は、協会創立50周年という節目の年に当たります。私どもは一昨年スポーツ団体として日本で初の公益法人の認可を受けました。公益法人として、昨年の総会で「今後の事業活動の基本方針」を決議しましたが、本年度はその方針に沿って、具体的な施策を議論し、実行に移していく必要があります。基本方針に基づき、速やかに改革していかなければなりません。将来 PGS が益々発展の為に皆様のご協力をいただき、より公益性に富んだ組織に成長していきたいと思っております。

- (3) 定款第30条に基づき浅井会長が議長に就任する旨の宣言、引き続き公益社団法人日本パブリックゴルフ協会平成23年度第4回理事会の開会を宣言した。
- (4) 議長は、議事録署名人を定款第32条に基づき浅井会長、並びに森田監事を指名した。次いで、議事進行役に島田専務理事を指名し議事に入った。

9. 決議事項

第1号議案:平成24年度事業計画(案)承認の件

事務局(丸山事業委員長が欠席につき代理。以下同様)より、第1号議案平成24年度収支予算(案)承認の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

1. 内容は例年とほぼ同様であるが、冒頭に協会創立50周年、東日本大震災に対する復興支援活動を新たに記載
2. 公益目的事業に関しては、ゴルフ競技会開催事業、ゴルフ普及振興事業を記載
3. 収益事業等にはハンディキャップ普及振興事業、助成金事業を記載

審議の結果、原案通り議決承認された。

第2号議案:平成24年度収支予算(案)承認の件

笠原財務委員長より、第2号議案平成24年度収支予算(案)承認の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

- 1.収入 :パ選、シニア、ミッドアマの競技参加料収入は前年実績並を見込む
PGS会員登録料を2,000円/人に改定(中部・西日本地区)
コースレート査定収入(内製化を前提)120千円×40コース (@60千円/9H)
- 2.支出 :平成23年度補正予算削減経費の復活
PGSニュース年1回発行、PGSセミナー開催費(公益目的事業)、調査研究事業費(公益目的事業)他
地区返戻運営費改定 200円/人 ⇒700円/人(中部・西日本地区)
スロープレート使用料新規計上(@50千円)
コースレート査定費用(内製化前提) 120千円×40コース (@60千円/9H)
助成金支出中止継続
管理費 新規資産支出(会計ソフト、コースレート査定機材)
- 3.損益 : (1)事業活動収支
収入 225,498千円、支出 225,451千円、当期収支差額 47千円
(2)投資活動収支(50周年記念史関連)
収入 5,363千円、支出 5,363千円、当期収支差額 0千円
(3)当期収支差額 47千円

審議の結果、原案通り議決承認された。

第3号議案:平成24年度資金調達及び設備投資見込み承認の件

笠原財務委員長より、第3号議案平成24年度資金調達及び設備投資見込み承認の件に関して議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

公益法人認定法第22条の定めに従い、毎年度内閣府に対して「事業計画書」「収支予算書」、及び「資金調達及び設備投資見込み」の届出義務があるが、平成24年度は第2号議案で提案の通り、資金調達及び設備投資計画共に計画がない旨の承認、方々内閣府にその旨届出致したい。
審議の結果、原案通り議決承認された。

第4号議案:平成24年度通常社員総会附議事項(案)の件

藤下総務委員長より、第4号議案平成24年度通常社員総会附議事項(案)の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

- 議案1. 役員改選(案)の件
 - 議案2. 平成23年度事業報告(案)承認の件
 - 議案3. 平成23年度貸借対照表(案)、正味財産増減計算書(案)他承認の件
- 審議の結果、原案通り議決承認された。

第5号議案:平成24年度会議及び行事日程の件

藤下総務委員長より、第5号議案平成24年度会議及び行事日程の件について、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

理事会等会議持ち回り規程に従い、平成24年度会議及び行事日程を提案。

会議名	開催日時	会場
-----	------	----

第1回幹部会 第1回理事会・合同委員会 通常社員総会 第2回理事会・合同委員会 創立50周年記念パーティー	24. 6.11(金)	八重洲富士屋ホテル(東京都)
第1回全国運営委員会 (旧:事業・競技・HDCP合同委員会)	24. 8.24(金)	メルパルク名古屋(愛知県)
第2回幹部会 第3回理事会	24. 9.13(木)	場所:未定(西日本地区)
平成24年度スポンサー会議	24.10.19(金)	西神戸ゴルフ場(兵庫県)
第3回幹部会 第4回理事会	24.11. 8(木)	メルパルク名古屋(愛知県)
第2回全国運営委員会 (旧:予算編成正副委員長会議)	25. 2.15(金)	銀座ラフィナート(東京都)
第4回幹部会 第5回理事会	25. 3.14(木)	場所:未定(西日本地区)

※平成25年「日本ゴルフサミット会議」は平成25年1月11日(金)開催予定
審議の結果、原案通り議決承認された。

第6号議案:平成25年度競技全日本担当地区の件

事務局より、第6号議案平成25年度競技全日本担当地区の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

競技	開催地区	開催日(案)
1.パ選 男子	西日本	平成25年 6月 5日(水)～ 6日(木)
2.パ選 女子	中部日本	平成25年 5月29日(水)～30日(木)
3.ミッドアマ 男子・女子	西日本	平成25年 9月 4日(水)～ 5日(木)
4.シニア 男子・女子・ミッドシニア	東日本	平成25年10月16日(水)～17日(木)

審議の結果、原案通り議決承認された。

第7号議案:退会正会員承認の件

藤下総務委員長より、第7号議案退会正会員承認の件について、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

コース名	退会日	退会理由
シーサイドゴルフパーク坂出	平成24年3月31日	競技参加者確保が困難になった為
入来城山ゴルフ倶楽部	平成24年3月31日	年会費支払いメリットがあまりない為
榛名の森カントリークラブ	平成24年3月31日	本社の方針
TOSHIN TOKYO North Hills Golf Course	平成24年3月31日	年会費支払いメリットがあまりない為
阿蘇リゾートグランヴィリオホテルゴルフ場	平成24年3月31日	協会事業に対する社内意見の不一致
セントレジャーゴルフクラブ城島高原	平成24年3月31日	本社の方針(売却)

※阿蘇リゾートグランヴィリオホテルゴルフ場 : 平成23年度 PGS 会員登録料未納

審議の結果、原案通り議決承認された。

【質疑応答】

森 常 務 理 事 : 宜野座カントリークラブが退会する可能性があると聞いたが、その後同コースから連絡がありましたか。

島田専務理事 : 宜野座カントリークラブは平成24年度も引き続き加盟します。城島高原は、ポスタ

一等で開催日が公表されておりパ選は予定通り開催致します。

第8号議案: 関東ゴルフ連盟ハンディキャップ委員委嘱の件

藤下事業委員長より、第8号議案関東ゴルフ連盟ハンディキャップ委員委嘱の件について、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

関東ゴルフ連盟(KGA)より、関東ゴルフ連盟ハンディキャップ委員の推薦依頼があったが、平成24年度も引き続き 西 治彦ハンディキャップ委員会副委員長、兼東日本ハンディキャップ委員長に委嘱致したい。

審議の結果、原案通り議決承認された。

第9号議案: PGS 名義後援承認の件

事務局より、第9号議案 PGS 名義後援承認の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

競技名	主催者等
1.第28回・第29回アオノジュニアゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
2.第19回・第20回すきっぷ21:アオノ親子ゴルフ大会	青野運動公苑アオノゴルフコース
3.2012年近畿オープンゴルフ選手権	サンケイスポーツ

審議の結果、原案通り議決承認された。

第10号議案: PGS ドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈先の件

事務局より、第10号議案 PGS ドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金寄贈先の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

平成23年度 PGS ドリーム・エイジゴルフ大会チャリティ募金

1. 寄贈金額 : 事務局依頼分95, 447円(総額305, 887円)
2. 寄贈先 : 日本赤十字社

審議の結果、原案通り議決承認された。

第11号議案: 平成24年度調査研究事業「ゴルファーの動態統計調査」の件

事務局より、第11号議案平成24年度調査研究事業「ゴルファーの動態統計調査」の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

1. 調査項目 : 時系列的にゴルファーのニーズ・動態変化の把握
2. 委託先(案) : 山岸勝信(ゴルフ活性化委員会マーケティング広報部委員)
3. 調査期間 : 加盟全コースの全入場者を対象。平成24年度中の平日、休日各1日
4. 調査協力依頼コース : 加盟全コース
5. 見積額 : 2,188千円

審議の結果、原案通り議決承認された。

【補足説明】

島田専務理事 : 山岸氏は石川県で同様の調査をされている実績がある。全加盟コースを対象としたデータを取ることで、ゴルフ場視点からの調査統計が主流の中、ゴルファーサイドの視点で競技志向型プレーヤーの年間プレー回数や行動範囲などを調べる予定。

第12号議案: NPO日本ジュニア育成協議会(JGC)に対し助成金復活の件

島田専務理事より、第12号議案NPO日本ジュニア育成協議会(JGC)に対し助成金復活の件に関

して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

同協議会に対する助成金50万円を本年度は見送りとして、平成23年度第1回理事会にて承認を得ている。報告事項第1号議案にて平成23年度決算見込みを報告するが、シニア・ミッドアマが補正予算対比で健闘し、当期収支差額は5,175千円の黒字を見込んでいる。当該助成金の拠出経緯を確認した処、当協会を含む同協議会の設立発起人(10団体)間で、助成金の拠出割合が申合せ事項となっている旨確認された。収支の好転、並びに拠出経緯を勘案するに、当協会のみが助成金を見送ることはやや問題が残るので、平成23年度助成金50万円を復活支出致したい。審議の結果、JGCに対して助成金の在り方について説明を求め、回答がない限り平成23年度は留保する旨承認された。

【質疑応答】

- 浅井会長 :平成23年度の助成金を見送りましたが、JGCから問い合わせがありましたか。
- 島田専務理事 :支払いを求める依頼文書が届いています。従って、JGC事務局長と話し合う機会を持ち、当初の経緯について照会したところ、申し合わせ事項と議事録を受領致しました。
- 浅井会長 :その議事録は2005年の日付になっています。当時から7年経ちましたが、JGCから助成金の使途に関して報告はありますか。
- 島田専務理事 :JGCの決算書には一括して助成金の記載しかなく、拠出団体名は記載されていない。公益法人としては拠出団体、支出明細を明確にして欲しい旨申し入れ致します。
- 浅井会長 :今まで助成金を支払っていたから今後も続けていくのではなく報告をもらい、実態をきちんと把握した上で判断すべき。
- 島田専務理事 :JGC事務局長には理事会開催後に回答する旨伝えてあります。助成金の在り方について申し入れをした事項の回答がない限り、23年度は留保させていただく旨回答致します。

第13号議案:PGS ニュースの制作に関し外部委託の件

事務局より、第13号議案 PGS ニュースの制作に関し外部委託の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

製作費の削減、事務局制作事務軽減、並びに内容の充実を図るため、ゴルフ誌制作のノウハウに優れた制作業者に外部委託したい旨、提案があった。

1. 委託先 :株式会社ヌーベルインターナショナル

住所:〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10松楠ビル8階

代表:荒井 聡 [日本ゴルフジャーナリスト協会会長、
(社)日本ゴルフトーナメント振興協会広報担当]

業務内容:新聞・雑誌広告の企画・編集・取材・制作、雑誌・書籍の企画

2. 見積額 :2,142千円(従来に比し360千円の経費削減効果)

審議の結果、2~3社と相見積もりを取り、比較検討した上で事務局にて外部委託先を決定する旨承認された。

【質疑応答】

- 浅井会長 :本来なら2、3社見積もりを出してもらい、それから検討してみても如何か。
- 島田専務理事 :今回1社の見積もりで決定することはやや問題がある。他に2、3社見積もりを徴求後、最安値先に決定する方向で外部委託の承認をいただきたい。
- 久保田理事 :広報委員会を作ってみてはいかがか。
- 島田専務理事 :広報委員会は、夏の合同委員会で議論すべき話と考えます。行動基本計画でも広

報活動は必要としており、どう広報活動を推進していくのか等、議論しなければなりません。

第14号議案:委員会規程改定の件

島田専務理事より、第14号議案委員会規程改定の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

平成24年度は従来の縦割委員会組織を改組し、新たに横串組織として運営委員会を新設し、運営委員会中心型の協会運営体制へシフト、加盟コースの協会活動への参加意識も高めるための改革に関して検討を進めてきた。平成24年4月1日実施とし、関連する「委員会規程」を改定提案したい。

審議の結果、原案通り議決承認された。

第15号議案:平成24年度競技パ選女子全日本特例シード承認の件

事務局より、第15号議案平成24年度競技パ選女子全日本特例シード承認の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

日本ゴルフ協会(JGA)より同連盟女子ナショナルチームの鬼頭 桜選手(愛知県美濃加茂高校2年)に対して、パ選女子全日本の特例シード権付与方依頼がきた。鬼頭選手はパ選出場に強い希望を持っているが、本年度パ選女子中部日本地区決勝[5月10日(木)]が、JGAナショナルチームの体力測定合宿(5月8日~10日)と重なっており、出場できないため、JGA経由にて特例シード権付与方依頼があったものである。

(参考)鬼頭選手のパ選女子成績

1. 平成23年度 中部日本地区決勝(5/12 名古屋広幡) 40 39 79 :11位タイ
全日本出場権を得たが、全日本には出場していない
2. 平成22年度 中部日本地区決勝 優勝
3. 平成21年度 中部日本地区決勝 優勝
4. 平成19年度 中部日本地区決勝 3位
5. 平成18年度 中部日本地区決勝 35位

審議の結果本件は承認された。また今後はJGAをはじめ然るべき団体からの依頼文書が提出された場合は、その都度理事会にて審議後、特別承認枠として認める旨承認された。

【質疑応答】

島田専務理事 : 本件は鬼頭選手がJGAに申し出て、JGAから正式文書が当協会に届いたという経緯がある。

菅野常務理事 : 特例シードを認めたい気持ちはあるが、特例に対応できるルールを作り、個人からの申し出があった場合も同様に対象とするのか。

林常務理事 : 細かいルールを作ってしまったら、複雑になるので、あれこれと決めずに然るべき団体から(例:JGA)要請書類が届いた場合は、都度特別承認枠としてシード権付与を認めては如何か。

第16号議案:J:COM(ゴルフネットワーク)によるパ選全日本放映の件

事務局より、第16号議案J:COM(ゴルフネットワーク)によるパ選全日本放映の件に関して、議案説明後審議要請があった。

【議案説明要旨】

1. 放映概要

パ選全日本男子・女子2日目。男女各30分、計1時間番組。再放送5回程度を希望(交渉中)。費用は当方の腹積りは200万円(打診中)

2. 実施理由

- (1)パ選、シニアの競技参加者数は減少傾向に歯止めがかからず、その打開策。
 ・パ選 :
 平成14～18年度は一万人の大台記録。本年度は東日本大震災の影響もあるが7,075名。ピーク時の40%減、60%のレベル
 ・シニア :ピーク時の50%減、3,034名
- (2)本年度は協会創立50周年。協会史「PGS50年のあゆみ」、50周年記念パーティーに加えて50周年記念プロジェクトとして追加。
- (3)事業活動基本計画では、競技参加者数は将来3万人を目指すとの方向感が示されている。具体的施策は、第1回全国運営委員会(平成24年8月24日開催)の議論に期待。本件は、パ選全日本開催が5～6月であり、早急な意思決定の必要があり緊急提案する。
- (4)予算措置は、第2号議案説明付言の通り当期は黒字決算が見込め、また、その額から公益目的事業会計の決算対策が必要。従って、平成23年度決算で当該所要費用(暫定200万円)を、「24年度特定事業引当金 パ選放映料」として引当する。
- (5)パ選のみならずシニア・ミッドアマ全日本も放映したい。取りあえずパ選全日本で反響を検証し、効果大であれば将来他競技にも拡大。

審議の結果、丸山事業委員長の承諾を得ることを条件とし、承認された。

【質疑応答】

- 林 常 務 理 事 :この件は事務局提案となっているが、事業委員長は了承しているのか。事業委員長に提案有無、費用に関する説明を事前にするべきではないか。
- 島田専務理事 :会議を欠席すると連絡の際に、丸山事業委員長には当議題を含めて意見を伺ったつもりだが、特段の指示はなく具体的な確認は取っていない。
- 浅井 会 長 :本件は予算にも入っていないが経緯を聞きたい。
- 事 務 局 :こちらからゴルフネットワークへ働きかけ、ゴルフフェアの時に打ち合わせの場を設けてもらえる様依頼した。
- 島田専務理事 :費用については当方の腹積りは5回の放送を含めて、200万位で可能かどうかを打診中である。
- 浅井 会 長 :事業委員長に確認を取った上話を進めていただきたい。アイデアとしては面白い、パ選の宣伝になるし、インパクトがある。費用を削るだけではなく、前向きな事業に使うのは良いことです。200万の金額こだわらずに進めてもいいと思います。

II. 報告事項

第1号議案:平成23年度決算見込の件

笠原財務委員長より、第1号議案平成23年度決算見込の件に関して、報告があった。

【報告要旨】

平成23年度予算は東日本大震災の影響から補正予算を編成したが、競技参加料収入の内パ選は前年度実績比19.6%の大幅減少、シニアは同2.1%、及びミッドアマは同1.3%減少と健闘し小幅な予算未達に留まった。この結果、事業活動収支は補正予算3,164千円黒字に対して、決算見込みは7,175千円の黒字、また最終当期収支差額見込は補正予算1,164千円黒字に対して、5,175千円の黒字が見込まれる。

(概況)

1. 事業活動収支の部	(単位:千円)
(1)平成23年1月末現在 当期収支差額	22,353
(2)平成23年2～3月収支差額見込	▲ 12,418 (収入11,564、支出23,982)
(3)当期収支差額見込(決算整理前)	9,935
(4)当期収支差額見込(決算整理後)	▲ 2,760
①HP減価償却(当期分)	(▲ 1,726)

②歩数計(競技用)減価償却(当期分)	(▲ 630)
③退職給与引当金(当期分)	(▲ 404)
当期収支差額見込	7,175
2. 事業活動外収支の部	0
3. 投資活動収支の部(50年史引当)	▲ 2,000
最終当期収支差額見込	5,175

4. 収支好転要因

(1) 事業活動収支の部

・競技参加料収入 補正予算比 +12,978千円

[内訳 : パ選 1,074、シニア 4,446、ミッドアマ 7,458 (千円)]

(2) 事業活動外収支の部、及び投資活動収支の部は補正予算通り

第2号議案:平成23年度競技参加者数報告の件

事務局より、第2号議案平成23年度競技参加者数報告の件に関して、次の通り報告があった。

【報告要旨】

「平成23年度競技参加申込者数」

単位:名

競技	パ選	シニア	ミッドアマ	UH 競技	ドリーム・エイジ	西日本 月例杯	中部日 本旅ゴ ルフ	東日本 クラブ対 抗戦	東日本 プロ・アマ チャレンジ	合計
H23	7,075	3,034	5,904	8,015	713	10,004	590	377	—	35,712
H22	8,801	3,099	5,976	7,879	637	9,253	461	392	28	36,526
増減	▲1,726	▲65	▲72	136	76	751	129	▲15	▲28	▲814

(注)UH 競技、西日本月例杯、中部日本旅ゴルフは競技中のため暫定参加者数

第3号議案:平成24年度パ選参加申込者数中間報告の件

事務局より、第3号議案平成24年度パ選参加申込者数中間報告の件に関して、次の通り報告があった。

【報告要旨】

参加申込者数(3月13日現在)

	男子	女子	合計
今年	2,082名	297名	2,302名
増減	▲220	31	▲189

(注)例年3月15日が中間報告集計日であるが、今回は理事会当日となる為、暫定的に3月13日時点の人数報告とした。地区別の申込者数は東日本地区▲35名、中部日本地区△57名、西日本地区▲212名(前年比)

第4号議案:他団体に対しシード権追加申請の件

事務局より、第4号議案他団体に対しシード権追加申請の件に関して、次の通り報告があった。

【報告要旨】

[新規認可(3月15日現在)]

- 北海道ゴルフ連盟 :北海道ミッドアマチュアゴルフ選手権予選 2位~10位
- 四国ゴルフ連盟 :四国ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝 1位
- 日本ゴルフツアー機構 :ANAオープンゴルフトーナメント主催者推薦選考会 1位
(パ選北海道・青森地区決勝)
- LPGA ツアー :中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン主催者推薦選考会 全日本1位
(パ選女子全日本)

第5号議案:キャロウェイゴルフ杯参加者アンケート実施の件

事務局より、第5号議案キャロウェイゴルフ杯参加者アンケート実施の件に関して、次の通り報告があった。

【報告要旨】

平成24年度キャロウェイゴルフ杯に関して、キャロウェイゴルフ(株)より同競技参加者を対象にアンケート調査の依頼があり、実施したい。アンケート結果は平成24年度スポンサー会議並びに、開催コースに報告。参加者目線での競技改善策を検討し、今後のアンダーハンディ競技参加者、HDCP取得者の増大に繋げて行きたい。

第6号議案:J-sys 登録料アンマッチ調査結果報告の件

事務局より、第6号議案 J-sys 登録料アンマッチ調査結果報告の件に関して、次の通りに報告があった。

【報告要旨】

JGAの請求額人数21,775名に対し、入金ベース人数は21,562名である。213名分、156,555円のアンマッチ。所属倶楽部会員(JGA 請求対象外=当協会の実質的収入)を含む入金ベース人数は22,392名で、請求額人数に対し617名分プラスであり、協会負担は生じていない。

第7号議案:50年史「PGSのあゆみ」制作進捗状況報告の件

事務局より、第7号議案50年史「PGSのあゆみ」制作進捗状況報告の件に関して、現在最終段階に来ており5月中旬発刊を予定である旨、報告があった。

第8号議案:PGS ハンディキャップ運営マニュアル配布の件

事務局より、第8号議案 PGS ハンディキャップ運営マニュアル配布の件に関して、ハンディキャップ委員会取り纏めによる「PGSハンディキャップ運営マニュアル」が完成したので、本年4月1日より適用の旨、報告があった。

第9号議案:「第46回ジャパンゴルフフェア2012」報告の件

事務局より、第9号議案「第46回ジャパンゴルフフェア2012」報告の件に関して、次の通りの報告があった。

【報告要旨】

平成24年2月17日～19日に開催された「第46回ジャパンゴルフフェア2012」において、東日本地区連絡協議会主体で、「PGSブース来場者アンケート」を実施、その集計結果の報告がなされた。なお、本年度の来場者数は51,590人(前年比 ▲2,390人)であった。

【質疑応答】

浅井会長 : 出展ブースは現状の広さだと十分なPRが出来ていないと思います。

事務局 : ブースのスペース問題と出展費用の問題があります。倍のスペースを出している団体多分うちの倍以上支払っていると思われます。

島田専務理事 : 用品協会に、来年はJGAと同様なブーススペースを欲しい旨、要望を申し入れたいと思います。

第10号議案:寄附金受入状況報告の件

事務局より、第10号議案寄附金受入状況報告の件に関して、次の通りの報告があった。

【報告要旨】

前のご報告以降下記の通り、寄附金 3件、45千円受入の旨、報告あった。

1. 笠原 隆哉 (東京都中野区)5千円
2. 有限会社ガゼル 代表取締役 伊澤 喜久男(東京都渋谷区)3万円
3. 松井 由美(京都府京都市)1万円
(参考)

1. 平成23年度寄附金受入累計 24件、761千円
2. パ選パンフレット(申込書)等の送付時(3万8,000部)に寄附金申込書を同封送付
3. 今後更に寄附金メリットを享受するため、会員全コースに「寄附金申込書」の備置(平成24年4月以降)を依頼致したい。

第11号議案:東日本大震災義援金活動報告の件

事務局より、第11号議案東日本大震災義援金活動報告の件に関して、次の通りの報告があった。

【報告要旨】

東日本大震災義援金活動は、会員49コースのご協力し、義援金総額は16,403,112円となった。寄贈先事務局依頼分916,310円は、ドリーム・エイジ大会チャリティ募金と併せて、「日本赤十字社」に寄付する。

第12号議案:職員の対外呼称使用に関する件

島田専務理事より、第12号議案職員の対外呼称使用に関する件に関して、事務局職員に対して、他団体との交渉・折衝時等における対外呼称使用を認める旨、報告があった。

1. 中村 知則 :事務局次長
2. 久保 拓二 :係長

第13号議案:日本ゴルフ協会(JGA)との諸打合せに関し報告の件

事務局より、第13号議案日本ゴルフ協会(JGA)との諸打合せに関し報告の件、次の通りの報告があった。

【報告要旨】

日本ゴルフ協会(JGA)とは現在スロープ使用料、コースレート査定資格付与等をはじめとして課題があり、先般のJGA(永田専務、塩田事務局長)、並びに事務方ベースの打合せ(ネゴベース段階)に関して報告であった。

1. コースレート査定:平成24年9月机上査定方式導入の方向
2. JGAハンディキャップ取得促進に向けた協力依頼
3. モバイルJ-sys停止に関して経緯ご回答の件
4. スロープ使用料:50,000円
5. コースレート査定資格について

全議案終了後、正会員増加策並びに協会PR方法に関して意見交換を行った。

【正会員増加策についての意見交換】

事務局:現状新規勧誘の為に協会案内を郵送していますが今後も、協会加盟コースを3桁の100コースを目標に活動したいと考えています。そのため今後ゴルフ場に積極的に勧誘したいと考えています。

島田専務理事:事務局は主体的に加盟してもらうように勧誘する立場にはありません。地区の考え方が基本で、どこの県、どの付近のコースを新規加盟コースとして、対象先として増やして行くのか、その考えに沿った行動を取っていくべきです。また事務局に具体的に新規加盟コースの指示または依頼いただくのであれば事務局は対応したい。その為には全国運営委員会で、具体的にどなたがアプローチするのか、また所管は何委員会とするにか等の議論が必要です。

林常務理事:加盟コースを増やすために役員が主として動くことは難しい。勧誘については、事務局主体で協会のメリットを話していただきたい。それと合わせて退会コースを減らすことも課題です。ゴルフ場の競技担当者・支配人のレベルでメリットを感じずにそのまま退会していくのが目立ちます。

事例の一つとして、榛名の森CCが競技開催で集客に力を入れ、パ選の全日本大会開催に誘致しました。去年に比べて、練習ラウンドを含む1,000名以上のお客様が増

加した結果が出ました。オーナーに向けて、協会のメリットの一つである競技をしたことで集客に結び付いた旨を伝えたが、オーナーの理解を得ることが出来ないことにより、退会したコースもあります。

浅井会長 : ゴルフ場としての経営も厳しいのが現状。支配人・担当者の方々にメリットを理解し、賛同いただけるコースでないとアプローチする意味がないでしょう。

島田専務理事 : 年会費40万払えば、お客様を送り込んでくれるだろうと人任せになっているコースはメリットも感じずに退会していくのが現状です。

林常務理事 : 新規開拓については地区会長や幹部役員への報告・連絡・相談を徹底してもらい、事務局中心で勧誘し、ゴルフ場に訪問した際、話した内容などは地区の代表に必ず報告していただきたい。競技開催に興味を持っていれば、地区の役員が新規加盟コース対象先に話をまとめにいきます。ある程度月日は掛かり、継続していくことが出来れば結果、新規加盟コース獲得へと結びつくと思います。

【協会PRについての意見交換】

石井副会長 : 日本ゴルフ練習場連盟で活動していて気付いたことです。例えば練習場にPGSニュースが置いてあっても、PGSの組織を認知していないと手に取る機会もありません。PGSについての知名度を上げる必要性があります。

島田専務理事 : PGSの知名度を上げる為には外部への広報・PRが必要です。新聞(全国紙・地方紙)、スポーツ紙、ゴルフ情報誌等PR出来る場を増やしていき、PGSのことを知らなかった人がPGSのことを知り、PGSニュースを手に取り、競技出場しようと思えるようなPRをしていくことが理想です。その為には広報活動の体制づくりが課題だと思います。

以上を以って、本理事会の全議題を審議し原案通り承認(一部議案留保付)された旨の報告後、島田議事進行役が議場に対して議事進行の協力を謝した。

10. 浅井会長閉会挨拶

次いで、浅井会長より閉会挨拶があった。

一昨年、公益社団法人となり、事業に関して見直す時期に来ています。本当に今根幹の問題をきちんとしていかなければならない状態にある。そのことを今日の議論を通じて皆さんに理解いただきたい。色々な問題を夏に議論するのではなく、答えを出して何かしようとするアクション計画に結びつけ、一つひとつ出来ることからやっていきましょう。ある程度時間がかかりますが、目標を持ってそれぞれの項目についてどこからやっていくのかということ、夏の全国運営委員会の時に決めて進めていけば良いと思います。今後とも皆様方のご協力を得て、事務局で意見を纏めて良くなるように動いていってほしいと思います。

11. 閉会宣言

浅井会長が、平成23年度第4回理事会第4回合同委員会の閉会を宣言し終了した。

以上

上記の議事録が正確であることを証するため、出席した会長(代表理事)及び監事は、次の通り記名押印する。

平成24年4月15日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
会長(代表理事) 浅井 光昭

印

監事

森田 敬

印